

授業科目名： 日本史Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目（中学社会） 選択科目（高校地歴）	単位数： 2単位	担当教員名： 堀川 徹 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自立的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 高等学校の地理歴史科の教員を目指す者が、日本史（近世から現代）を多角的に学び、基礎的な知識及び知識を得るための方法論を修得する。 【到達目標】 ・近世から現代までの日本史の大まかな流れを説明できる。 ・日本史（近世から現代）に関する歴史的事項を多角的に理解し、説明することができる。 ・日本列島のみならず、周辺地域との関連のなかで日本史（近世から現代）を理解し、説明することができる。 ・問題意識をもって、自ら主体的に学ぶことができる。 ・歴史的事項の因果関係・相関関係について理解し、説明することができる。			
授業の概要 日本史（近世から現代）について、周辺地域との関りに留意しながら概観する。単に歴史的事項の羅列にとどまらず、歴史的事項の因果関係・相関関係に着目する。			
授業計画 第1回：近世という時代・織豊政権―テキスト①1章・2章― 第2回：幕藩体制の成立と朝廷―テキスト①3章～5章― 第3回：近世の対外関係―テキスト①6章～8章― 第4回：東アジアの「首都」と日本列島の町―テキスト①9章・10章― 第5回：大坂における非人集団―テキスト①11章・12章― 第6回：近世の村の形成と身分的周縁―テキスト①13章・14章― 第7回：近世の村―テキスト①15章～17章― 第8回：近世の流通と経済―テキスト①18章～20章― 第9回：近代の国際化―テキスト②1章・2章― 第10回：近代の対外関係―テキスト②3章～5章― 第11回：条約改正と憲法発布―テキスト②6章・7章― 第12回：日清・日露戦争と日本の植民地政策―テキスト②8章～10章― 第13回：デモクラシーと国際協調―テキスト②11章～13章― 第14回：近代の経済外交と経済政策論争―テキスト②14章・15章― 第15回：戦時から戦後へ―テキスト②16章～20章― 定期試験			
スクーリングでの学修			
テキスト ①杉森哲也編（2016）『大学の日本史 3.近世』山川出版社、978-4-634-60033-1 ②小風秀雅編（2016）『大学の日本史 4.近代』山川出版社、978-4-634-60034-8			
参考書・参考資料等 岩波新書 シリーズ日本近世史（全5冊） 岩波新書 シリーズ日本近現代史（全10冊） ちくま新書 歴史講義シリーズ			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			